

落ちついたツヤ消しに仕上がる

水性 外かべ用 ツヤ消し 水性アクリルペイント

塗り方

①下地調整

●はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●ひび割れやすきまなどは、あらかじめコーキング材やシーリング材などで補修しておきます。
●塗る箇所のゴミや汚れを取りかびはカビとり剤で、油分・ワックスはペイント用剤で拭いてよく落とします。

②養生

●塗料がついては困る箇所は、あらかじめマスキングテープなどでおいておきます。

③よくかき混ぜる-1

●塗料は、棒などで容器の底までよくかき混ぜて均一にします。(キャップをあける前に、缶を逆さにして充分振り動かさば、よく混ぜられます)

③よくかき混ぜる-2

●塗料を使い切る場合は、缶の天面を缶切りなどで切り開き、棒などで缶の底までよくかき混ぜて均一にします。

④塗 装

●コーナーや塗りにくいところは、先にすじかいバケやミニコテバケで塗っておきます。
●広い面積の部分は、ローラーバケ・コテバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることが出来ます。
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
●塗装後一日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかたり、雨や結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。
※表記の乾燥時間は、半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

⑤あとしまつ

●ハケや用具は、乾かないうちに水で濯いで洗ってください。
●残った塗料は、固くキャップをしめて保管します。

危険

●臓器の障害
●水生生物に毒性

救急処置

●目に入った場合には、直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●吸った場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●鼻息、ガスなどを吸い込んだ場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、大量の水でよく洗い、痛み又は外傷に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

プロテクター：プラスチック(PP)
補修キャップ：スチール

防カビ剤
防藻剤配合

ASAHI PEN

日光や雨に強い 塗りやすい
水性 外かべ用

ツヤ消し
2回塗り

屋外のモルタル・
コンクリート・
スレート・ブロック・
リシン仕上げ壁

7L



無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

ASAHI PEN CORP.

防カビ剤
防藻剤配合

ASAHI PEN

日光や雨に強い 塗りやすい
水性 外かべ用

ツヤ消し
2回塗り

屋外のモルタル・
コンクリート・
スレート・ブロック・
リシン仕上げ壁

7L



無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

ASAHI PEN CORP.

落ちついたツヤ消しに仕上がる

水性 外かべ用 ツヤ消し 水性アクリルペイント

商品名 水性外かべ用
品 名 合成樹脂塗料(水系)
成 分 合成樹脂(アクリル樹脂・エチレン酢酸ビニル樹脂)、顔料、防カビ剤、防藻剤、水
特 長
●ハケさばきが軽いのでたいへん塗りやすく、速く乾き、落ちついたツヤ消しに仕上がります。
●防カビ剤・防藻剤の配合により、長期間カビ・藻の発生を防ぎます。
●いったん乾けば、日光や雨に強く、コンクリートやモルタル面に適した外かべ専用の塗料です。
用 途
●屋外のスレート・モルタル・コンクリートなどの平滑面の塗装。
●ブロック壁・リシン壁・モルタルのかき落としはけ引き壁などの凹凸面の塗装。
※ 絶えず水がかかたり水につかるところや、いつも濡れているところ、また床面には適しません。
うすめ方
塗料の粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。塗装面が高湿となり乾燥が遅すぎて塗りにくいときは、さらに少しずつうすめて調整します。
取扱い上の注意
①表示の用途以外に使用しないで下さい。②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入ったり皮膚に付着しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。④塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧あらかじめ自立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・密着性などを確かめてから塗って下さい。⑨特殊なコーキング材・シーリング材の中には密着しないものがあります。⑩コンクリート・モルタル・レンガなどのアルカリ性材料の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。⑪塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑫塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。特にモルタル・リシン仕上げ面などは表面状態や吸い込みの適いにより大きく変わります。⑬ベントスプレーヤーを使用する場合は、空打ち状態にならないように注意して下さい。⑭容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑮やむをえず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固着剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑯容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。
下地処理の注意
①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②旧塗膜を触って粉が手にくっつく場合は、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。③カビがはえている所はカビとり剤でカビをとってから塗って下さい。④藻(モ)、コケがはえている所は、水をかけながらタワシ等で取り除いてから塗って下さい。⑤くさの類など鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。⑥新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヵ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。
保管上の注意
①幼児の手の届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとキャップをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

株式会社 ASAHI PEN

大阪市東区東見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製
01-1611